

2. 秋田で始まった ロケットの歴史

—おもしろ科学実験室—

ロケットってどんなもの？

ロケットを作って飛ばそう！

秋田大学大学院工学資源学研究科
附属ものづくり創造工学センター
助教 和田 豊

■ 日本のロケット開発



- 糸川英夫
 - 1912年東京にて出生
 - 東京帝国大学第二工学部(現在の東京大学生産技術研究所)を卒業後、戦闘機的设计に携わる
 - 1941年第二工学部助教授に就任
- ロケット研究の始まり
 - 1953年生研AVSA(Avionics and Supersonic Aerodynamics)研究班
- ペンシルロケット
 - 1955年4月12日ペンシルロケット公開試射

「日本ロケットの父」 糸川 英夫 1912~1999

■ ペンシルロケットとベビーロケット



■ 秋田と宇宙のつながり

秋田県のだら川海岸は

日本初のロケット打上が行われた場所

現在、能代市にはJAXAの多目的実験場がある

ペンシルロケット



道川海岸での打上
の様子



ペンシルロ
ケット (C)

全長30cm
直径1.8cm
重量230g

打ち上げ高度
600m

(1955年8月6日)⁴

■ L-4SロケットとM-Vロケット

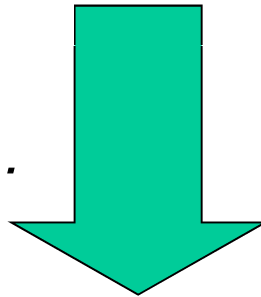


■ 宇宙の平和利用

◆ 日本は徹底した非軍事的な宇宙開発

⇒昨今の若者たちに平和的な宇宙活動を目指す動き

動きの一例として...



◆ 大学生による衛星・ロケットのものづくり活動

⇒能代宇宙イベント！！